

多元文化論系「科目登録ガイダンス」資料（新2年生用）

1. 登録全般について

- ・ 「2016年度科目登録の手引き」を熟読し、登録手続きを行ってください。

2. 演習および講義の履修について

- ・ 半期に登録できる専門演習には上限があります。各自きちんと確認した後に登録してください。
- ・ 新2年生は秋期初めにゼミか卒業研究のどちらかを選択することになります。

2016年度のゼミ・卒業研究ガイダンスは9月27日（火）に開催されます。

- ・ ゼミと卒業研究についての留意点を以下に示します。

【ゼミ志望者】

ゼミによっては、面接・成績等による選抜試験が行われる場合があります。ゼミの選択を考えている学生は、ゼミ担当教員の演習や講義を事前に受講しておくことが望ましく思われます。ゼミを選択する前に、教員の専門分野や関心を知っておくことは、ゼミに入る事前準備となるだけでなく、各自の興味や相性を確認する意味でも有意義です。

【卒業研究志望者】

卒業研究の指導教員は3年秋期初めに希望を出すことができます。他論系や文学部の各コース所属専任教員の指導を希望する場合は、その先生の演習や講義を今の段階から積極的に受講し、あらかじめ人間関係を築いておくと良いでしょう。ただし、ゼミ・卒研・卒論の指導人数には上限が定められているので、その点も確認が必要です。

【共通】

「日本史・世界史再発見」のオムニバス授業（多元文化論系の複数の教員によるリレー形式）は、さまざまな視点から歴史と文化を捉え直す授業内容となっています。ゼミ選択に迷っている学生にとっても、多元文化論系の教員に幅広く触れる機会となりますので、履修をお薦めします。

3. 5つのプログラムについて

- ・ 別紙「プログラム紹介」を参照してください。

4. 留学予定の方へ

- ・ 多元文化論系では、留学生への支援を積極的に行っております。単位振替などがスムーズにできるよう、留学前に論系運営主任との面談を実施します。留学予定者は、必ず論系室の助手にその旨を伝えて、留学前面談を受けてください。

5. 論系から（へ）のメール連絡について

- ・ 論系教員、及び論系室からの重要な連絡が電子メールで行われることがあります。Waseda-net のアドレス宛に届きますので、こまめに確認するか、日常的に使用しているアドレスへの転送設定を確実に行ってください。なお、論系室にメールを送信する場合は、必ず氏名と学籍番号を含めるようにしてください。

6. 東京国立博物館／国立美術館（関東 3 館） キャンパスメンバーズについて

- ・ 別紙の案内を参照してください。

7. 論系室について

- ・ 論系室には学生用 PC（Windows 3 台、Mac 1 台）、プリンターのほか、辞書やデータベースなども整備されています。科目登録以外にも、多岐にわたる質問を随時受け付けますので、気軽に来室してください。特殊な場合を除いては、アポイントの必要ありません。
- ・ 助手（滝澤みか・松本隆志）、助教（川浩二）が交代で論系室には在室しており、必要に応じて論系運営主任への相談を組むことも可能です。

<多元文化論系室>

開室時間：12:30～18:30（月～金）＊2016 年度は新体制になりますので、詳細は HP をご確認ください。

場所：33 号館（高層棟）9 階 906 号室

電話：03-5286-2979

HP： http://www.waseda.jp/trns_cult/

メール： sdc.admin2007@gmail.com

Twitter： <https://twitter.com/TagenBunka>